



JORNAL NIKKEI SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL TAKAO MIYAGUI

日本企業、生産移転を加速

関税第4弾控え、中国外へ

【共同】米国の中国製品に対する第4弾の追加関税控を控え、日本企業が影響を避けるために生産拠点を中国の外へ移す動きが加速してきている。米中の対立は「新冷戦」と呼ばれるほど深刻化し、解決の糸口すら見えない。両大国に挟まれた日本企業はサプライチェーン（部品品の調達・供給網）の大幅な見直しを迫られている。

米国はこれまで年間約2500億ドル（約26兆5000億円）相当の中国製品に対して追加関税を課税してきた。第4弾では、残りほぼ全ての中国からの輸入品が対象となり、9月1日に発動する。スマートフォンやゲーム機など、一部品目の発動は12月15日に延期することになったが、実施方針は変わっていない。

米国はこれまで年間約2500億ドル（約26兆5000億円）相当の中国製品に対して追加関税を課税してきた。第4弾では、残りほぼ全ての中国からの輸入品が対象となり、9月1日に発動する。スマートフォンやゲーム機など、一部品目の発動は12月15日に延期することになったが、実施方針は変わっていない。

イランのタンカー解放

緊張緩和へ英船釈放焦点

【ロンドン共同】尾崎雅子「英領ジブラルタル自治政府は15日、欧州連合（EU）の対シリア制裁違反の疑いで7月に拿捕したイランの大型タンカーを解放したと発表した。イランは報復と

折れていたのは舌骨と呼ばれる部分など。舌骨は首つり自殺でも折れることがあるが、同紙は絞殺の場合に折れることが多いとしている。被告が入っていた独房は30分に1回は看守が点検するはずだったが、被告が死亡した日は数時間にならなかつたことも判明。パト司法長官は被告の死亡の経緯や監視態勢の調査を命じた。

【ワウル共同】上嶋茂太「韓国軍合同参謀本部は16日、北朝鮮が同日午前8時1分（日本時間）と8時16分に、東部・江原道の通川付近から日本海に向けて短距離の飛行機を2発発射したと明らかにした。韓国軍は飛行機は約230キロ飛行し、高度は約3000メートル、最高速度はマッハ6.1以上とみている。米韓は飛行機の種類などについて分析を急いでいる。

【共同】古都の夏を彩る「五山送り火」が16日、京都市街を囲む山々で行われた。台風が過ぎ去った夜空に鮮やかに浮かんだ炎を、家族連れの見物客が見守めた。午後8時ごろ、東山の如意ヶ嶽で「一画が最長約

【ワシントン共同】遺伝子を効率的に改変できるゲノム編集技術を使い、子どもの失明の原因となる目の病気を遺伝子治療の臨床試験で米国のオテノロジック企業が15日までに発表した。簡単に使えるため世界で急速に広がる「クリスパ」キヤス9」という手法を活用して人の体内で原因

【ワシントン共同】遺伝子を効率的に改変できるゲノム編集技術を使い、子どもの失明の原因となる目の病気を遺伝子治療の臨床試験で米国のオテノロジック企業が15日までに発表した。簡単に使えるため世界で急速に広がる「クリスパ」キヤス9」という手法を活用して人の体内で原因

【共同】台風10号は伴う欠航や遅延が相次いだ。関西空港（大阪府泉佐野市など）で16日、運航再開を待つ約1700人の利用客が空港ロビーなどで一夜を明かした。空港を運営する関西エアポートは、昨年9月の台風21号で発生が孤立した際の教訓を生かして対応に当たった。関空では15日午後10時現在、国際線と国内線で発着の232便が欠航となった。遅れも生

【共同】NHKから国民を守る党の上杉隆幹が16日、国会内で記者団に「十分な警戒態勢の下、米軍なども連携しながら、国民の安全を守るために万全を期す」と述べた。

【共同】NHKから国民を守る党の上杉隆幹が16日、国会内で記者団に「十分な警戒態勢の下、米軍なども連携しながら、国民の安全を守るために万全を期す」と述べた。

【共同】NHKから国民を守る党の上杉隆幹が16日、国会内で記者団に「十分な警戒態勢の下、米軍なども連携しながら、国民の安全を守るために万全を期す」と述べた。

【共同】NHKから国民を守る党の上杉隆幹が16日、国会内で記者団に「十分な警戒態勢の下、米軍なども連携しながら、国民の安全を守るために万全を期す」と述べた。

【共同】台風10号は伴う欠航や遅延が相次いだ。関西空港（大阪府泉佐野市など）で16日、運航再開を待つ約1700人の利用客が空港ロビーなどで一夜を明かした。空港を運営する関西エアポートは、昨年9月の台風21号で発生が孤立した際の教訓を生かして対応に当たった。関空では15日午後10時現在、国際線と国内線で発着の232便が欠航となった。遅れも生

【共同】NHKから国民を守る党の上杉隆幹が16日、国会内で記者団に「十分な警戒態勢の下、米軍なども連携しながら、国民の安全を守るために万全を期す」と述べた。

【共同】NHKから国民を守る党の上杉隆幹が16日、国会内で記者団に「十分な警戒態勢の下、米軍なども連携しながら、国民の安全を守るために万全を期す」と述べた。

【共同】NHKから国民を守る党の上杉隆幹が16日、国会内で記者団に「十分な警戒態勢の下、米軍なども連携しながら、国民の安全を守るために万全を期す」と述べた。

【共同】NHKから国民を守る党の上杉隆幹が16日、国会内で記者団に「十分な警戒態勢の下、米軍なども連携しながら、国民の安全を守るために万全を期す」と述べた。

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL
南米神宮
開運 沼矛八方被
Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP
Tel: (11) 5575-4783 - www.temploxintoista.org.br

5949 TUNIBRATRAVEL
renovando e realizando suas viagens!
End: Praça da Liberdade, 170 (colado ao metrô Japão-Liberdade) - Liberdade - São Paulo

60ª CONVENÇÃO DE NIKKEI E JAPONESES NO EXTERIOR
Período: 01 a 03 de outubro de 2019
Local: Tokyo - Japão

JAPÃO TRADICIONAL 2019
"Pacote de 17 dias" VIA DUBAI
05 e 13 de julho
11 de setembro
15 e 25 de outubro
ROTEIRO: Dubai, Tokyo, Hakone, Monte Fuji, Kyoto, Nara, Kyoto, Takayama, Shirakawago, Nagoya, Hiroshima, Miyajima, Osaka e Tokyo

ALFAINTER TURISMO
Visite nosso site: www.alfainter.com.br
ENDERECO: Rua Galvão Bueno, 33 - Sala 62 - LIBERDADE - CEP.01506-000 - SÃO PAULO - SP

ALFAINTER TURISMO
Visite nosso site: www.alfainter.com.br
ENDERECO: Rua Galvão Bueno, 33 - Sala 62 - LIBERDADE - CEP.01506-000 - SÃO PAULO - SP

ALFAINTER TURISMO
Visite nosso site: www.alfainter.com.br
ENDERECO: Rua Galvão Bueno, 33 - Sala 62 - LIBERDADE - CEP.01506-000 - SÃO PAULO - SP

ALFAINTER TURISMO
Visite nosso site: www.alfainter.com.br
ENDERECO: Rua Galvão Bueno, 33 - Sala 62 - LIBERDADE - CEP.01506-000 - SÃO PAULO - SP

職権乱用防止法

ボウソナロ大統領は板ばさみ

一部項目に拒否権行使か 推進議員との兼ね合いは?

【既報関連】14日に連邦下院議院が職権乱用防止法をスピード承認してから一夜明けた15日、法案に反対した下院議員や、検察、司法当局、果ては政権内部のセルジオ・モロ法相から、ボウソナロ大統領(社会自由党・PSL)に対して法案の一部に拒否権行使するようとの働きかけがあったと、16日付付字各紙が報じている。

モロ法相「慎重な検討」要請

同法案は、「ラウア・素を多分に含んでおり、ジャット作戦による汚職PT(労働者党)や民主捜査に対する政界からの党(DEM)など、本来反撃、報復」といった要請は政治志向が異なる。



ボウソナロ大統領(右) (Marcos Corrêa/PR)

政界の議員が、こぞって賛成している。「政治経験は豊富ではないが、その分、政界の垢にまみれていない」とのイメージを打ち出し、昨年の選挙で躍進したPSLなどは、党として法案に反対した。

法案に反対している議員は、既に二つの点で拒否権が行使されるだろうとの情報を得たとしている。その二つは「正当な根拠なしに捜査を行うこと」「不適切な方法で手錠を束ねる方法」など、不適切な方法も解釈の幅が広い。

また、「調査対象者、収監者、被害者など」の写真や動画を、本人の同意なく撮影してはならない」との項目も拒否される可能性がある。また、職権乱用防止法に含まれているが、拒否権行使を要望されていない項目として、「司法当局の正式な許可や現行法が認めるような条件が整わないのに、捜査目的と称し、居住者の同意もなく、住居や私的に侵入すること」などがある。

また、連邦検察庁も、「この法案は、捜査対象者が被告人たちに、捜査機関こそ罪を犯している」と糾弾する権利を与えるもので、犯罪や汚職捜査の効力や各機関の独立性を損なわせる」とより踏み込んだ声明を発表している。

15日に聖市で開かれた、サンタンデル銀行主催のイベントに出席したパウロ・ゲデス経済相は、南米共同市場(メサ)に賛同している。

15日付付字各紙が報じている。11日の連邦大統領選挙の予備選では、キルチネル前大統領を副大統領にも収録された。リマ氏は2014年に検察庁の捜査に際して、その管理責任者だったとして、ネズ氏と共に過ごした責任を認め、強姦や虐待は否定したという。

同経済相は、「米中貿易戦争は、伯国の国内総生産(GDP)成長率には影響を及ぼさず、せいぜい為替を左右する程度だ」とした。ゲデス経済相は就任後の半年を振り返り、「我が国の経済政策は正しい道を歩んでいる。社会保障制度改革は下院を通過し、上院承認を待つのみだ。カピタリサンが省かれたのは誤算だったが、長年の課題を取り除きつつある」と語った。

同経済相は「米中貿易戦争は、伯国の国内総生産(GDP)成長率には影響を及ぼさず、せいぜい為替を左右する程度だ」とした。ゲデス経済相は就任後の半年を振り返り、「我が国の経済政策は正しい道を歩んでいる。社会保障制度改革は下院を通過し、上院承認を待つのみだ。カピタリサンが省かれたのは誤算だったが、長年の課題を取り除きつつある」と語った。

アマゾン基金 イルウエーも援助を凍結 独に続き伯国に不信感

15日、ノルウエーが法定アマゾン保護のための「アマゾン基金」への資金1億3300万レアル分の援助を差し止めた。10日にはもうひとつの資金提供国のドイツも差し止めを公表した。10日にアマゾン基金技術委員会(CITF)の二つを5月にボウソナロ政権が廃止したことが、ノルウエーやドイツとの間で結んだ合意の一環の破棄に当たるとの見方がある。

森林伐採は7月に急増も

これは、15日にノルウエーのオラ・エルヴェス

上、森林伐採はこれまで以上のペースで進んでおり、伯国にはそれを抑制する意図はないと両国から判断された。10日にはドイツが1億5千万レアルの資金援助凍結を発表しており、これに続いてノルウエーも今回の判断に至った。

両国からの支援カットで基金が枯渇すれば、法定アマゾンの森林伐採を監視する環境省傘下の国立再生可能天然資源・環境院(IBAMA)に4800万レアルを受

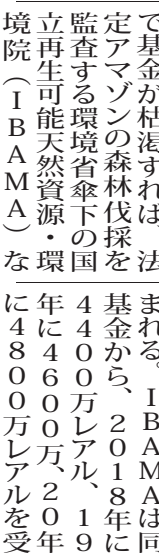
どの活動も窮地に追い込まれる。IBAMAは同基金から、2018年に4400万レアル、19年に4600万、20年に4800万レアルを受

け取るようになってきた。また、16日にアマゾン人間・環境院(IMAZON)が発した最新データによると、18年8月〜19年7月の法定アマゾンの森林伐採は15%増加している。中でも、7月の森林伐採は前年同月比66%増の1287平方キロメートルで、1年間の伐採量の25%が7月に行われていたことになる。

ノルウエー側の資金差し止めを受け、ボウソナロ大統領は同日、「ノルウエーだつてクジラを殺して油田開発を進めてい

聖州が聖市を流れるピニエイロス川に、15億レアルを投じて本格的な浄化工事を行う意向だと、16日付付字紙が報じている。

浄化作業の責任を受け持つサンパウロ水道局(SABESP)は、同河川の流域を14に分割し、河川からの汚物撤去などを受け持つ企業の人札を行い、年内に完了する。年内に完了する。年内に完了する。



細い木や切り株をなぎ倒し、引き抜くためのトラクターや鎖 (Mayke Toscano/Gcom-MT)

州 軍政時代の罪で元兵士被告に 「死の家」での女性強姦や拷問で

リオ州などを管轄下に置く連邦第2地域裁判が14日、アントニオ・ワニエル・ビエイロ・リマ退役軍曹が軍政下で犯した女性強姦や拷問などの罪で起訴状を受理したと14日付付字各紙が報じた。

軍政下での刑事犯罪は1979年制定の恩赦法で不問に伏せられてきたため、軍人への起訴状受理は初めてだ。リマ氏の起訴状はリオ州トポロリ

1971年5月8日にベトロロリスの「死の家」に移された。「死の家」は政治犯を内密に軟禁、拷問した場所の一つで、イネス氏以外の政治犯、少なくとも18人は全員殺害された。彼らの遺体は見つかっていない。

イネス氏は「死の家」での唯一の生存者で、軍政下で捕らえられ、最後に解放された人物でもある。同氏は「死の家」で3カ月余り軟禁状態に置かれたが、スパイ役を引受け、たふらして、その後

の拷問や死を免れた。同氏は1979年に

東西南北

15日付付字各紙が報じている。6月に出た大統領令で承認された小銃などは、購入が禁止されたが、警察や軍隊だけが持つことが可能だった9ミリ口径や45口径の拳銃などを

持つことが認められた。一般市民による購入は官報掲載日から可能となった。以前出た大統領令は、20日に大統領と面会し、同伴について話し合う予定だ。裁定期限は15日以内だ。

自身の推す犯罪防止法より先に、拒否権を取り締まる側の権限を抑制しかねない法案を通されてしまったセルジオ・モロ法相は、「誰だつて職権乱用には賛成しない。しかし、職権乱用防止法による検事や検察、判事の職務が脅かされないか、慎重に検討する必要がある」との書面を出した。

また、連邦検察庁も、「この法案は、捜査対象者が被告人たちに、捜査機関こそ罪を犯している」と糾弾する権利を与えるもので、犯罪や汚職捜査の効力や各機関の独立性を損なわせる」とより踏み込んだ声明を発表している。

15日に聖市で開かれた、サンタンデル銀行主催のイベントに出席したパウロ・ゲデス経済相は、南米共同市場(メサ)に賛同している。

南米共同市場離脱の覚悟も 亜国のキルチネル派を牽制

15日に聖市で開かれた、サンタンデル銀行主催のイベントに出席したパウロ・ゲデス経済相は、南米共同市場(メサ)に賛同している。

15日に聖市で開かれた、サンタンデル銀行主催のイベントに出席したパウロ・ゲデス経済相は、南米共同市場(メサ)に賛同している。

15日に聖市で開かれた、サンタンデル銀行主催のイベントに出席したパウロ・ゲデス経済相は、南米共同市場(メサ)に賛同している。

15日に聖市で開かれた、サンタンデル銀行主催のイベントに出席したパウロ・ゲデス経済相は、南米共同市場(メサ)に賛同している。

15日に聖市で開かれた、サンタンデル銀行主催のイベントに出席したパウロ・ゲデス経済相は、南米共同市場(メサ)に賛同している。

サンパウロ人文科学研究所は、日系社会の研究調査を日々行っています。研究成果、ニッケイ新聞から購入できます。お問い合わせはニッケイ新聞編集部まで。地方発送も出来ます! ☎ 11-3340-6060

ブラジル 【日ポ両語】 目でみる ブラジル 日本移民の百年 Cem Anos da Imigração Japonesa no Brasil através de Fotografias ブラジル日本移民史料館、ブラジル日本移民百年記念協会百年史編集委員会編

# 国際派日本人養成講座

しせ 老舗メルマガ

伊勢雅臣

## 中国の覚醒 (上)

2007年3月11日版

### 中国共産党の嘘との戦い

#### 1. 「毛主席の小戦士」

石平氏は、1980年に北京大学に入学した。そこで人生最大のショックに打ちめされた。物心ついた以来、「人民の幸福を願う慈悲の救世主である毛主席」の小戦士として育てられてきたのに、その毛主席がどんな悪事でも平気でやり通す権力者だ、と非難する人が大学には大勢いたのである。

石平氏の学んだ四川省成都市の中学校は「思想教育の重点模範校」に指定されていて、「毛主席思想の徹底した教育によって毛主席の忠実な戦士を作る」ことを基本方針としていた。

学校の玄関から入ったところには、毛主席の肖像が聳え立ち、至る所に毛主席の肖像が貼られていた。毎朝一時間目の授業では、クラス全員が起立して毛主席の肖像を敬礼した後、さらに3人の生徒を立てて、毛主席思想を勉強したことによる「収穫」を述べさせるのが日課であった。

担任の女性教師は、教室の中で毛主席や共産党の「温情の深さ」を語る時、いつも喉を詰まらせながら泣き出し、涙を流した。そして毎週一度、生徒全員が「毛主席への決心書」を書かされるのだが、石平氏は文章が上手だったので、時々模範文に指定され、クラス全員の前で朗読させられた。その一つは「敬愛する毛主席は私たちの心の赤い太陽」というタイトルだった。

#### 2. やり場のない怒り

ところが、北京大学のキャンパスには、敬愛する毛主席を非難する人間がたくさんいた。誤った大躍進政策で数千万の人民を餓死させ、自分の地位が危うくなると文化大革命という混乱状態を作り出した多くの罪もないひとりとを死に至らしめた独裁者だった、と彼らは言う「A、B」。

最初は勿論、絶対に信じたくはなかった。私は小柄であるにもかかわらず、「毛主席の悪口を言うやつ」に対しては、何度か食ってかかって、殴り合いの喧嘩をした。しかし、徐々に信じざるを得なくなった。示された根拠は、あまりにも説得力のあるものであり、被害者とその家族たちの訴えは、あまりにも切実であった。

#### 3. 中国共産党の二党独裁の政治体制そのものが問題の根源

このような苦しみを味わったのは、石平氏だけではない。程度の差こそあれ、周りの同級生たちも皆このような受難を味わっていた。学生寮の狭い部屋で、安酒を酌み交わしながら、一緒に涙を流した。その冷たくなったお茶を飲みながら、石平氏は怒りをぶつけていた。怒りや問題ではない。確かに毛主席は一人の権力欲のために、国家と人民とを地獄に陥れた。しかし、国全体がなす術もなく、一人の人間の横暴と狂気を数年も許してきたのは、一体なぜなのだろうか。

#### 4. 日本へ

石平氏は大学卒業後、地元四川省の大学講師となり、学生寮に入り浸っては、自由と民主化について、学生たちと語り合った。しかし、そうした活動が、共産党支部から「嚴重注意」を受けた。教授からも「僕の立場もあるから、もとと研究に専念して欲しい」と言われた。

こうして石平氏の活動が封じ込められているうちに、北京で政変が起こった。若者たちの民主化運動に一定の理解を示し、共産党内の開明派の代表格であった胡耀邦が党総書記を解任されたのだ。それによって民主化運動も低調期に入った。

そんな時に、「通の手紙が日本から届いた。学生時代に民主化の理想を語り合った親友が、政府派遣の留学生として日本に渡り、石平氏にも「日本に来ないかと誘ってくれたのである」。

石平氏は心を動かした。民主化を志す者として、実際の民主主義国家とは一体どういふものであるかを自分の目で見てみたかった。また、どうしてアジアの中で日本だけが近代化に成功したのか、という問題には以前から興味を持っていた。

こうして1988年、石平氏は日本にやってきました。1年間、居酒屋で皿洗いのバイトをしながら、日本語学校に通い、「あいうえお」から勉強した。そして翌年、神戸大学の大学院に入った。

#### 5. 運命の6月4日

大学院に入って、指導教官のゼミが始まった4月15日、胡耀邦前総書記の死去のニュースが祖国から伝わった。それを機に、民主化運動は一気に盛り上がり、北京の仲間たちから、「今度こそ、いっせいに立ち上がって長年の夢を実現するぞ」という檄文が寄せられた。石平氏も京阪神地方の中国人留学生の連帯組織を立ち上げて、日本において、中国国内の民主化運動に呼応する活動を開始した。やがて、あの運命の6月4日かやってきました。「C」。

そして、毛沢東時代ですら見たことのない恐ろしい光景が現実のものとなった。共産党が、中華人民共和国政府が、兵隊と戦車を出動させて自ら首都を「占領」して、丸腰の学生や市民に手当たり次第に銃撃を浴びせ、次から次へと倒していった。「1P 49」。

あの日に、トウ小平の凶弾に倒れて、若い生命と青春の夢を無残に奪われたのは、自分たちの同志であり、自分たちの仲間なのだ。後で知ったことだが、自分がかつて一緒に飲んで、一緒に語り合ったことのある仲間の数名が、その犠牲者のリストに含まれていた。

彼らはかつて、この私の目の前に座っていて、この私に向かって夢と理想を語り、この私に、青春の笑顔の明るさと、男同士の握手の力強さを感じさせた。彼らは確かに生きていて、存在していた。「1P 47」。

そしてあの日突然、彼らは殺された。「1P 47」。

#### 6. 「もう一度騙されていた」

この時になって、石平氏は、自分がもう一度騙されていた事を知った。7、8年前に毛沢東時代の洗脳教育から覚めた時でも、トウ小平と彼の率いる党内改革派によって、共産党も生まれ変わっていくだろうと信じて疑わなかった。

しかし、民主化運動が共産党の独裁体制を脅かすような事態になると、トウ小平も共産党も、すぐさまその本性を剥き出しにした。そこには主義も哲学もない、法律も道徳もない。あるのはただ、共産党が自らの独占的権力を何としても守りたい、という赤裸々な党利党略と、そのためには、手段を選ばない卑劣さと残酷さであった。

ここまで来て、私自身は完全に目が覚めた。自分の心の中で、中国共産党と中華人民共和国に決別を告げたのである。・・・

この中華人民共和国にも、もはや用がない。何の愛着も義理もない。共産党の党利党略のための道具と成り下がったこの「共和国」は、もはや「私たちの国」ではない。それはただの「北京政府」であって、ただの「あの国」となったのだ。「1P 50」。

#### 7. 80年代の親日 90年代の反日

石平氏はその後、6年間の大学院生活を終えて、日本の民間研究所に就職した。そこでは中国国内の大学や研究所と学術的交流を進めていた。石平氏も頻繁に中国に出張するようになった。久しぶりに見た中国社会の衝撃を受けたのは、さまざまの反日感情が蔓延していることだった。食事の場などでも、かならず「原子爆弾でも使って日本を地球上から抹殺すべきだ」「いや恨みを晴らすには、人づ殺した方がいい。東京大虐殺など日本は日本は罵倒合戦が始まる」。

石平氏は何でこんなに中国人が反日になったのか、理解できなかった。自分が学生だった80年代の「改革開放」時代には、官民を挙げて日本との交流を全面的に推進することが国策となり、「日中友好」「日本に学ぶべし」が合い言葉として流行っていた。高倉健や山口百恵などは、中国人にとつての「国民的」アイドルになっていた。

90年代の「反日青年たち」は、日本を憎むのは過去の日本軍の「無道」や「虐殺」に原因があるというが、それなら、戦争の記憶がより鮮明な80年代の私たちが、もっと日本を憎んでいるはずだ。しかし、事実は正反対で、私たちの世代は日本に対して好感と親しみを抱いていた。おかしいではないか、と石平氏は思った。

#### 8. 「おじさんは歴史を忘れたのか」

そのナゾがやっと解けたのは、2000年8月に夏休みを利用して、四川省の実家に帰省した時である。大学1年生の甥が遊びに来ていたので、小遣いをやろうとした。しかし、甥は「要らない」と断った。「おじさんのお金は、日本人から貰った給料だろう。そんな金、僕には要らない」とときどき口調を言った。そして「今度、日本が攻めてきたら、僕は最新鋭の兵器を持って、小日本を徹底的にやっつけるのだ」と気迫を込めて言った。石平氏は「もう一人の反日青年の誕生か」と心の中で呟いた。

さらに甥は誇りに、大学で共産党の入党申請書を出した、と言った。石平氏が「共産党はそんなによいのか」と聞くと、甥は少々、興奮状態になってこう答えた。

「当たり前じゃないか。共産党の指導があるから、中国は日本の侵略を防げるんじゃないか。昔、日本侵略軍をやっつけたのは共産党じゃないか。おじさんは歴史を忘れたのか」。

「そうか。やはり歴史か。それなら聞く。今から11年前、北京で起きた『6・4事件』(天安門事件)、あれも歴史だけど、君はどう思うのか」と、石平氏は反撃に出たが、甥は冷然として答えた。

「党と政府の措置は正しかったと思います。おじさんたちのやっていたことは、外国勢力の陰謀じゃないか。鎮圧しないと、この中国は外国勢力の支配下に入ってしまうんじゃないか。鎮圧しとて悪いのか」。

丸腰の学生を虐殺した政府を正しい、と言われ、石平氏は怒り心頭に発した。甥は「殺人と言え、何千万の中国人を殺した日本人こそ殺人者じゃないか」と言い捨てて、出て行った。

#### 9. 「反日」とは世紀の大ベテン

甥が帰ってから、石平氏は自分の気持ちが収まるのを待つ。甥の言葉を吟味していった。甥はかつての民主化運動を「外国勢力の陰謀」と信じ込み、丸腰の学生たちを虐殺した共産党を全面的に擁護し、その「日本が再び中国を侵略してくる」という荒唐無稽な作り話を完全に信じて、それを防ぐために「共産党の指導」に従って、身を挺して「戦う」つもりなのだ。

すべてが分かった。「反日」とは結局、中国共産党の党利党略から仕掛けられた世紀のベテンなのだ。80年代の親日と90年代の反日との間にあるのが、89年の天安門事件である。

中国共産党は丸腰の若者たちを虐殺した「殺人政府」だと非難されて、窮地に陥った。そこから抜け出すために、日本を憎むべき「悪魔」に仕立て、国民の怨念を自分たちではなく「外敵」に向かわせようとした。その「外敵」がもう一度「侵略」してくるだろうというウソの偽りの危機感を煽り立てることで、「共産党の指導体制」に新たな正当化の根拠を、与えようとしたのである。

人を馬鹿にするにもほどがある。子供時代の私たちが洗脳された時と同じ口調を使って、もう一度人を騙そうとするのか。私たちの世代だけでなく、私の甥の世代までもこのような洗脳教育の犠牲者にする気なのか。そうはいかない、と思った。そして何よりも許せないのは、中国共産党政権はまさに、この反日教育という名の汚いマジックを用いることによって、私たちの世代の起こした、民主化運動への記憶を抹殺して、私たちの仲間に対する、彼らの殺人的犯罪を覆い隠したことがある。「1P 89」。

石平氏は、殺された同志のために、将来の中国のためにも、「反日」という世紀の大ベテンを打ち破らなければならない、と決心した。ここから「日中宿命」などの力作が次々と生み出されていく。

- リンク
- A. JOG (109) 中国の失われた20年(上)
  - B. JOG (110) 中国の失われた20年(下)
  - C. JOG (162) 天安門の地獄絵

天安門広場に集まって自由と民主化を要求する100万人の群衆に人民解放軍が襲いかかった。D. JOG (461) 中国反日外交の迷走 中国の靖国反日外交は迷走を続けつつ、国際社会にその無理無体ぶりをさらけ出してきた。【参考文献】 (1) 石平「私は「毛主席の小戦士」だった」 (2) 飛鳥新社 H18

ニッケイ新聞大人気シリーズ! 最新刊発売開始!! 日本文化第9巻特別号

## 眞子さま 写真集

あの感動が蘇る!

リオ、ロンドン、マリンガー、サンパウロ、マリア、プロミッソ、平野植地、アラサツバ、マナス、ペレン、トマスーの写真を全て収録

子孫につたえよう  
心を込めて花を供えられ、手を合わせた眞子さまのお姿を。

特別価格 R\$60

日本語(ルビ付き)とポルトガル語併記

ご注文/お問い合わせ 詳細はニッケイ新聞編集部まで。郵便のご注文は太陽堂、フォノマキ、高野書店でどうぞ。ニッケイ新聞社 ☎11-3340-8080 | 太陽堂 ☎11-3208-6588 | フォノマキ竹内書店 ☎11-3104-3399 | 高野書店 ☎11-3209-3313

『日本文化』5巻まで同時購入で 35%OFF

195冊が160冊に

ニッケイ新聞で好評連載中の「国際派日本人養成講座」を中心に  
日本独自の文化や歴史を  
日ポ両語で紹介!

## 日本文化

サンパウロ 青年図書館

日本文化1 RS35.00 日本文化2 RS40.00 日本文化3 RS40.00 日本文化4 RS40.00 日本文化5 RS40.00

ニッケイ新聞大人気シリーズ! プレゼントにも!

お問い合わせ/販売 詳細はニッケイ新聞編集部まで ☎(11-3340-6060) | 日系書店でも販売中! 地方発送も出来ます!

太陽堂 ☎11-3208-6588 | フォノマキ竹内書店 ☎11-3104-3399 | 高野書店 ☎11-3209-3313 | UMANTY SHOP - SANTO ANHE ☎11-4472-45321

## 国際派日本人養成講座

発行人=伊勢雅臣 (文責)

Mail: ise.masaomi@gmail.com

Twitter: https://twitter.com/#!/ise\_masaomi

無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/



## 74 anos do fim da Segunda Guerra Mundial (15/08/2019)

# Japão realiza cerimônia de homenagem aos 74 anos do fim da Segunda Guerra Mundial

No dia 15 de agosto os japoneses celebram o marco do fim da Segunda Guerra Mundial e rezam pela paz. Em Tóquio, milhares se reuniram para uma cerimônia realizada pelo governo para homenagear os que morreram na guerra. Mais de 6 mil pessoas, incluindo sobretudo familiares, participaram do evento anual na quinta-feira para

homenagear cerca de 3 milhões e 100 mil japoneses que morreram na guerra. O imperador Naruhito e a imperatriz Masako participaram da cerimônia pela primeira vez desde a ascensão do imperador ao trono, em maio. O primeiro-ministro Shinzo Abe falou: "A paz e a prosperidade que alcançamos hoje estão fundadas

nos sacrifícios extremos de todos aqueles que morreram na guerra. Isso é algo do qual nunca vamos nos esquecer." Ao meio dia, os participantes observaram um minuto de silêncio. O imperador disse: "Meus sentimentos estão com as muitas pessoas que perderam suas preciosas vidas na última guerra e com

suas famílias enlutadas." E acrescentou que participou da cerimônia "com um profundo e renovado sentimento de tristeza". Os parentes dos mortos na guerra estão envelhecendo. Cerca de 80% dos familiares enlutados que participaram da cerimônia têm 70 anos de idade ou mais, e este ano, somente cinco viúvas compareceram ao evento.

## Pyongyang (16/08/2019)

## Coreia do Sul diz que Pyongyang disparou dois projéteis de curto alcance

Militares sul-coreanos afirmam que a Coreia do Norte disparou dois projéteis de seu litoral, na parte leste do país, na manhã de sexta-feira. O Estado-Maior das Forças Armadas da Coreia do Sul afirmou que dois projéteis foram lançados da província norte-coreana de Gangwon, em direção ao Mar do Japão. As forças americanas e

sul-coreanas estão coletando informações e analisando detalhes. O governo japonês não confirmou a entrada de quaisquer mísseis em seu território ou na zona econômica exclusiva. Disse ainda que não há ameaça imediata à segurança nacional. O primeiro-ministro do Japão, Shinzo Abe, disse a repórteres que o país irá se

empenhar para garantir a segurança de seu povo, ao mesmo tempo em que trabalha com os Estados Unidos e outras nações para manter vigilância. Esta é a sexta vez, desde 25 de julho, que Pyongyang lança projéteis que se acreditam ser mísseis balísticos de curto alcance. O governo norte-coreano vem criticando exercícios militares conjuntos dos Estados

Unidos e da Coreia do Sul, que devem continuar até o dia 20, terça-feira. O presidente dos Estados Unidos, Donald Trump, afirmou que não se opõe a testes de projéteis de curto alcance realizados por Pyongyang. Segundo analistas militares, a Coreia do Norte pode estar tirando proveito da tolerância americana para aprimorar sua tecnologia de mísseis balísticos.

## Temperaturas (15/08/2019)

## Temperaturas ultrapassam 40°C nas províncias de Niigata, Yamagata e Ishikawa

O ar quente gerado por uma forte tempestade tropical fez com que uma onda de calor chegasse até áreas banhadas pelo Mar do Japão, com temperaturas espe-

cialmente altas na região de Hokuriku e no nordeste do país. Em Tainai, cidade da província de Niigata, os termômetros marcaram 40,7 graus

centígrados até as 15h de quinta-feira. Já a cidade de Sanjo registrou 40 graus. Na província de Yamagata, a temperatura chegou a 40,4 graus centígrados em Nezu-

gaseki, distrito da cidade de Tsuruoka. Já em Shika, na província de Ishikawa, os termômetros atingiram 40,1 graus.

## Santuário Yasukuni (15/08/2019)

## Oferenda é entregue por parlamentar ao Santuário Yasukuni em nome do premiê

O primeiro-ministro do Japão, Shinzo Abe, enviou oferenda ritual ao Santuário Yasukuni, situado em Tóquio, nesta quinta-feira, dia em que o país recorda o fim da 2ª Guerra Mundial. A parlamentar do Partido Liberal Democrático Tomomi Inada fez a entrega

da oferenda em dinheiro em nome de Abe, sob o título de presidente da agremiação política. Ela disse ter sido solicitada pelo premiê a transmitir sentimentos renovados de gratidão e respeito aos que fizeram nobres sacrifícios em guerras passadas, com

a mensagem de que os japoneses têm uma dívida para com eles pela paz e pela prosperidade atuais do país. O Yasukuni homenageia mortos em guerras no Japão. Entre os reverenciados no santuário estão personalidades que foram

condenadas por crimes de guerra após o último conflito mundial. Shinzo Abe tem enviado anualmente, em 15 de agosto, oferendas em dinheiro próprio desde a última vez em que visitou o santuário, em dezembro de 2013.

## EUA (15/08/2019)

## Japão está próximo de fechar acordo comercial com os EUA

A delegação japonesa em nível de trabalho de negociações comerciais com os Estados Unidos indicou que um acordo poderá ser alcançado no próximo mês. As discussões tiveram início em Washington na terça-feira. Os negociadores estão debatendo regras de origem, que estabelecem condições dos locais de

produção que determinam tarifas sobre produtos agrícolas e industriais. Depois da reunião de quarta-feira, uma autoridade de alto escalão do governo japonês disse a repórteres que os dois lados estão em sintonia. E acrescentou que a trilha para um acordo já está sendo traçada, em termos de questões-chave para ambos.

Os governos japonês e americano vêm acelerando as negociações para obter um acordo no próximo mês. Toshimitsu Motegi, ministro japonês responsável pelas negociações com os Estados Unidos, e o representante de comércio americano Robert Lighthizer devem se encontrar para conversas conclusivas an-

tes da Cúpula do G7 na França, no final deste mês. Os Estados Unidos querem um mercado mais aberto para seus produtos agropecuários. O Japão está buscando tarifas mais baixas para suas exportações de automóveis. Agora a atenção está voltada para ver como os dois países vão se ajustar em relação a esses pontos pendentes.

## Príncipe Hisahito (16/08/2019)

## Príncipe Hisahito inicia sua primeira viagem ao exterior

O príncipe Hisahito, do Japão, partiu para o Butão em sua primeira viagem ao exterior, acompanhado de seus pais, o príncipe herdeiro e a princesa Akishino. Nesta sexta-feira, de ma-

nhã, no Aeroporto de Haneda, em Tóquio, o príncipe Hisahito, de doze anos de idade, curvou-se e sorriu quando os repórteres lhe desejaram uma viagem segura. No Butão, a família reali-

zará uma visita de cortesia ao Rei Jigme Khesar Namgyel Wangchuck em Thimphu, capital do país. Eles estão planejando, também, assistir a uma atuação de manobra de arco e flecha, esporte nacional do

Butão, e visitar um pasto de gado para conhecer a cultura tradicional e ver a beleza natural do país. A família deverá retornar ao Japão no dia 25 de agosto.

# NHK WORLD JAPAN

Estas notícias são produzidas pela  
NHK WORLD-JAPAN.  
nhk.jp/portuguese

## Tufão (16/08/2019)

## Tufão Krosa deve provocar fortes chuvas no norte do Japão

O tufão Krosa deve causar fortes chuvas no norte do Japão até o sábado. Autoridades estão alertando para o risco de deslizamentos, ventos fortes, ondas gigantes e cheias nos rios na região. A Agência de Meteorologia do Japão informou que às 15 horas desta sexta-feira, o tufão Krosa estava a 340 quilômetros ao oeste-sudoeste da ilha de Okushiri, localizada no mar do Japão. O tufão deve atingir a província de Hokkaido, no norte do Japão, no sábado.

No período de 24 horas até o meio dia de sábado, até 250 milímetros de chuva devem cair em Hokkaido, além de 150 milímetros na região de Tohoku. Algumas áreas do oeste do Japão registraram 800 milímetros de precipitação. Autoridades emitiram avisos de risco de deslizamentos para a província de Nara. Até as 15 horas desta sexta-feira, o tufão Krosa havia deixado pelo menos 2 pessoas mortas e 49 feridas.

## Andrés Iniesta (16/08/2019)

## Astro do futebol Andrés Iniesta participa de vídeo promocional do esporte para deficientes visuais

O Comitê Organizador dos Jogos Paralímpicos de Tóquio 2020 divulgou um vídeo do astro do futebol Andrés Iniesta jogando futebol de cinco, modalidade para deficientes visuais. O comitê pediu ao ex-membro da seleção de futebol da Espanha, que atualmente joga para o Vissel Kobe na primeira divisão da liga nacional do Japão, para contribuir com a promoção do esporte paralímpico. Foi necessário um ano para finalizar o processo de planejamento e produção do vídeo, que tem duração de 2 minutos. No futebol de cinco, que é praticado por deficien-

tes visuais, todos os jogadores, exceto os goleiros, usam vendas nos olhos e devem se guiar e marcar gols pelo som de guizos colocados no interior da bola. Eles também podem receber instruções de guias que permanecem fora do campo. No vídeo promocional, Iniesta aparece usando uma venda nos olhos e parece estar impressionado com a habilidade no chute e no domínio da bola dos jogadores da seleção nacional do Japão. A sua identidade é revelada apenas quando ele retira a venda dos olhos.

## Aplicativos gratuitos da

# NHK WORLD JAPAN

Serviço em português  
a qualquer hora em qualquer lugar!

NHK WORLD RADIO JAPAN

\*Para iOS e Android



Transmissão ao vivo em português e outros 16 idiomas

Clipes de áudio de últimos noticiários e programas

## Aplicativos gratuitos da NHK WORLD - JAPAN

TV em inglês em 24 horas

NHK WORLD

\*Para iOS, Android e Amazon Fire





# 大阪。聖姉妹都市提携50周年

## 50周年記念式典20日に

### 中尾副市長ら使節団18人来伯

サンパウロ市と大阪市が1969年に姉妹都市提携をして、今年で50周年を迎えた。それを記念して19日(土)と20日(日)の2日間、中尾寛志大阪府副市長を団長とした18人が使節団として来伯し、サンパウロ・大阪姉妹都市委員会(高木ラウル委員長)が主催する聖市議会を開催される。姉妹都市50周年式典に出席する。各日施設視察等も行い、22日には「サン・ハウス」で「イベ・サン」都市大阪の魅力についてと題した講演会が開催される。



大阪府からは中尾副市長、市協会からは吉川秀隆会長ら8人の計18人の使節団が来伯し、19日に伯国に到着する。20日には、午前10時から聖市議会(大阪・サンパウロ)で「大阪・サンパウロ姉妹都市提携50周年記念式典」に出席。同式典には聖市のブルーノ・コバス市長も出席する。



姉妹都市45周年の際には大阪ジュニアバンドが来伯し、式典に華を添えた。

大阪姉妹都市委員会と親会を行う。21日には、ブラジル日本文化福祉協会、ブラジル都道府県人会などの日系団体や、移民史料館を訪問。昼には大阪にわ会と懇親会を行い、夜には総領事館公邸を訪問する。22日には午前10時からJHでセミナーを開催。太鼓の演奏で幕を開け、今年6月にG20のサミットも行われ、アジアでのビジネス展開において需要が高まる都市、大阪について講演する。一般公開。入場無料。一行は22日に帰国する。

大阪市と聖市は69年10月27日に姉妹都市提携をした。翌年に同姉妹都市協会を設立。同半世紀にわたり、スピリチュアル、留学生派遣・受け入れ、サッカーなどの分野で活発に交流を行ってきた。

09年の姉妹都市提携40周年では、関係深化のために都市整備・交通などの各分野で相互協

## 日本人シヨロ歌手が来伯

### TV「Sr. Brasil」出演

群馬県南部の佐波郡玉村町在住のシヨロ歌手・片山美奈さんが7月29日(土)来伯し、片山さんの伯国での活動をサポートする元在聖日本国総領事館・広報文化担当職員坂尾英矩さんとともに、6日



シヨロを歌い上げる片山さん

に来社した。片山さんは27日まで滞在し、伯国各地で歌唱を披露する予定。7月30日には、テレビ・クルソーラ局の看板番組の一つ「Sr. Brasil」の公開収録にも出演した。この番組はSES C協力で制作され、伝統音楽の大御所、ロランド・ポルトロン氏が司会をし、普通のテレビ番組には呼ばれないような、当地の大衆文化や伝統音楽を代表する音楽家が招待されることになった。

片山さんは「ポルトロンさんにアブラソしてもいい、優しく背中を叩かれ、『とても上手だ』と言われ、天にも登る気持ちでした」と思い出す。坂尾さんによれば「観覧客は総立ちで大きな拍手を送った」。そう。放送日は未定。もともと伯国音楽が好きな片山さんは、偶然日本に手に入れた「シヨロの女王」プロ歌手アデミウデ・フォンセーカとの出会いがきっかけで、このCDを聞き、特徴的なボーカルの魅力にひかれたという。当初は日本で楽曲を聴き、真似して歌っていただけだったが、

実際に会いたいという気持ちが高まった。フォンセーカの自宅電話番号を東京に住むブラジル人の知人からたまたま教えてもらい、片山さんはいきなり本人に電話し、「教えほしい」と依頼した。その時の私はボ語がたなかつたので、一か八かと思いついて電話口でシヨロを二曲歌ったら、一発でOKしてくれました」とのこと。すぐさま会社を辞めて渡伯し、「シヨロの女王」のリオ自宅に約3

## 倫理法人会セミナー

### 米国から講師・本庄さん

サンパウロ倫理法人会(須郷清孝会長)が17日(土)午前8時半から聖市リベルダーデ区のニッペラセホテル (Nippelase Hotel, 425)の1階で開催するセミナー「米国の倫理法人会」を主催する。講師は、米国の倫理法人会本庄修幹社長が、須郷会長と共に来社した。今年に入り、米

国カリフォルニア州倫理法人会の本庄修幹社長が、須郷会長と共に来社した。今年に入り、米

その中で、伯米の交流は盛んだ。今は世界に倫理を広めるのに大事な時期。各会が協力し合うことが必要」とし、現在も米伯に伯国から2人が研修に行っているのだとか。ちなみにサンパウロ倫理法人会の本庄修幹社長によれば、今年10月にはカ

ニッペラス市に倫理法人会を設立する予定。その際に米伯から数人が来伯するそう。同じアメリカ大陸だけに、これからも積極的な交流を続けたい。聖市では「Studios」と呼ばれる約40平米以上の小型新築マンションが流行っており、次々に売りに出されている。「1寝室、居間、トイレ、台所」と狭いながらも一通り揃っているタイプだ。問題は、そのサイズに見合った家電がブラジルにはないこと。特に洗濯機や冷蔵庫、電子レンジ、掃除機などの

## 宮崎県人会 創立70周年式典を25日に

### 河野県知事ら32人が慶祝来伯

ブラジル宮崎県人会(竹下達也会長)は創立70周年記念式典を25日(日)午前9時半から、聖市リベルダーデにあるサンパウロ電力組合会館(Rua Thomez Gonzaga, 50)で開催する。当日は母県からの公式訪問団19人、民間の慶祝団13人も参加する。

公式訪問団には、河野俊嗣県知事に加えて、井手義哉商工観光労働部長、坊園正恒農政水産部長、山下博三県議会議長、徳永哲也宮崎ブラジル親善協会理事、田上明彦宮崎市副市長、伊丹利明宮崎大学学長顧問、高橋登(株)本多ロック代表取締役社長らも名を連ねている。

その他、民間の慶祝団としては「南米を語る会」から野崎里見さん4人、「南十字星の会」から田口正幸さん2人、関係者が東京都から6人が駆けつける。式典では、県人会から母県側の功労者に感謝状の贈呈、知事から県人会の発展功労者・県事業功労者・高齢者表彰者への記念表彰、県留學生・農業研修生の謝辞、記念贈呈などが行われる。続いて午後1時から祝賀会「アトラクション」では日本舞踊、カラオケ、剣道デモンストレーション、サンパシヨなどが行われる。翌26日(月)午後7時から、宮崎県主催の食物流通企業「ブラジルの新聞・テレビ関係者

を招いてジャパン・ハウスにおいて開催される。当日は県が誇るチキン南蛮などの郷土料理や焼酎宮崎牛が振る舞われる予定。宮崎県は1年を通して温暖な気候に恵まれた「食の宝庫」として知られる。宮崎県からのブラジル移住者総数は3978人で、県人会は終戦直後の1949年9月10日、「宮崎弁で語る会」として支部がある。現在の会員は400人だが、県出身者や孫とその家族は1万人といわれ、ブラジル各所で活躍している。

カ月間通って真髓を学んだとの驚きのエピソードを披露した。片山さんは2009年にシヨロのCDを日本で発売。ヤマダ電機で購入できる。一部の楽曲は動画共有サービスYouTubeに開設されているチャンネル(https://www.youtube.com/channel/UCoYkknW8gOrp)でも聴くことができる。「玉村さん大使」として活躍し、「ブラジル・タウン」大泉町など県東部で在日伯人らとも親交を深めている。

参加無料。同セミナーに関する問い合わせは須郷会長(電話119・9635・8135)まで。

**売家 店舗付き一軒家 VENDE-SE**

◎ジアダマ市セントロ◎

【土地】550m<sup>2</sup>  
【地上階】店舗(面積:88m<sup>2</sup>)  
【1階】台所、洗濯スペース、駐車場(3台)  
【2階】クローゼット付スイートルーム、2寝室、ベランダ、事務所、シュラスケイラ 他  
【屋根裏】台所、寝室、洗濯スペース、ベランダ他  
【金額】R\$ 1.400.000,00

大空不動産 OZORA Imóveis CRECI 18.845-J  
Rua da Glória, 466 - Liberdade - São Paulo  
(11) 3274-6775 (ユウコ、アンジェラ)  
(11) 94023-8808 / 99106-4411 (アンジェラ)

**Shiatsu 指圧・整体・針灸で**

腰痛ヒザの痛み、首の痛み、咳・くしゃみによる尿もれ、頻尿の人

Prof. Minoru Kohakura  
Tel: (11) 3262-0835  
Av. Paulista, 509 Sala 7 (外ロ・ブリガデイロ近く)

サンパウロ日伯医療協会 ENKYO

**日伯友好病院** Hospital Nipo-Brasileiro

日本語で対応します。お忙しい方にも最適な半日コースの人間ドックを提供しています。

サービス  
・人間ドック  
・25分野の診療  
・各種専門科の検査  
・歯科  
・リハビリ  
・鍼灸  
・言語聴覚療法

各種健康保険を取り扱っています。

最新設備と専門スタッフを備えた日伯友好病院は真心を込めた医療をあなたへお届けします。

24時間緊急対応  
・成人内科  
・心臓外科  
・外傷センター  
・産婦人科  
・脳神経外科  
・整形外科  
・小児科

診療所 40を超える専門分野の診療を提供

Rua Pistola, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo  
Tel.: 11 2833-2200 - www.hospitalnipo.org.br

サンパウロ日伯医療協会 ENKYO

**リベルダーデ医療センター** Centro Médico Liberdade

Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo  
Tel.: 11 3274-6555 - www.enkyo.org.br

PERFUMARIA TAKEO 化粧品専門

**たけお店**

二九四・九三三

ぶつだん ORATORIOS

作ります 学会ぶつだん 各種ぶつだん レフォルマします (Reforma-se)

TEL: (11) 2524-8396 ASSAI





# 援協創立60周年盛大に祝う

特集

## 32人から2千人超に発展

### 伯国全体の医療福祉に貢献

60年前に32人から始まったサンパウロ日伯援護協会(与儀上原昭雄会長)は、今では2千人を擁する最大の組織に成長した。そんな援協は創立60周年記念式典を12日夜、聖市議会で執り行った。歴代の援協役員、日系団体代表者、野村アウレリオ聖市議、(秋山進理)の代表者ら約300人が列席。援協の発展を盛大に祝した。

与儀会長は「戦後移民の支援を目的に職員と理事32人から始まり、2千人以上の職員を擁するまでに発展をとげた。この機会に多大な支援、協力により支えられた皆さんに感謝し、会、伯国社会の発展に寄

「聖市議会からは「医療・福祉を通して日系社会の発展に貢献し、笑顔を見せた。」と出辞に謝辞を述べた。聖市議会からは「医療・福祉を通して日系社会の発展に貢献し、笑顔を見せた。」と出辞に謝辞を述べた。

「表彰受賞者」援協からは以下の通り(敬称略、五十音順)。(個人)井上健治、内村俊一、大瀧多喜夫、尾西貞夫、小畑エミリ、加藤英世、菊地義治、税田清七、坂和三、佐々木尚、佐藤良隆、鈴木厚生、玉田伯夫、増定則、辻雄三、土井セリジオ、戸田マリオ、藤島幸、藤村隆次、南利実、森エリオ、森西茂行、森政雄、矢島カネロ、安武誠、山本恒夫、吉田繁

「法人など」国際協力機構(JICA)、在聖日本国総領事館、日本国際協力財団、パナソニックブラジル、ブラジルトヨタ、ブラデスコ銀行、ホンダサウスアメリカ

「表彰受賞者」援協からは以下の通り(敬称略、五十音順)。(個人)井上健治、内村俊一、大瀧多喜夫、尾西貞夫、小畑エミリ、加藤英世、菊地義治、税田清七、坂和三、佐々木尚、佐藤良隆、鈴木厚生、玉田伯夫、増定則、辻雄三、土井セリジオ、戸田マリオ、藤島幸、藤村隆次、南利実、森エリオ、森西茂行、森政雄、矢島カネロ、安武誠、山本恒夫、吉田繁

「表彰受賞者」援協からは以下の通り(敬称略、五十音順)。(個人)井上健治、内村俊一、大瀧多喜夫、尾西貞夫、小畑エミリ、加藤英世、菊地義治、税田清七、坂和三、佐々木尚、佐藤良隆、鈴木厚生、玉田伯夫、増定則、辻雄三、土井セリジオ、戸田マリオ、藤島幸、藤村隆次、南利実、森エリオ、森西茂行、森政雄、矢島カネロ、安武誠、山本恒夫、吉田繁



記念式典に参列した日系団体代表者、来賓ら

#### 与儀会長に未来展望を聞く



与儀会長

### より良い医療福祉の手に 新病棟8階から16階に変更

60周年の節目を迎えた援協は、今後どのような発展を見せるのか、与儀会長に今後の展望を聞いた。福祉分野については、援協が率先して施設に入所せず日帰りで通える介護施設、デイサービス(通所介護)を導入し、日系社会全体に広めるべきとした。伯国は将来、現在の日

本のように高齢化を迎える。そこで特別養護老人ホーム(特養)の必要性が高まるという。援協ではあけぼのホームが特養にあたるが、特養は入居者あたりの職員数も多く必要とし、経済的に余裕のない入居者からは利用費満額を徴収してない援協にとって、負担の大きい施設だ。したがって援協は解決策として、デイサービスを導入し、高齢者の家族や日系社会全体で高齢者を支える仕組み作りを構想している。

温かく見守ってほしい。その方が高齢者も幸せに過ごせて、精神的な健康にもつながる。入居者も援協も経済的負担を小さくできる。援協は施設を提する団体ではなく、高齢者や家族の幸せを支える団体でありたい」と語った。

「医療分野については、日伯友好病院の好調な経営状況により、福祉施設の赤字を補っている現状。与儀会長は「家族を施設に預けたままにするのではなく、毎日接して温かく見守ってほしい。その方が高齢者も幸せに過ごせて、精神的な健康にもつながる。入居者も援協も経済的負担を小さくできる。援協は施設を提する団体ではなく、高齢者や家族の幸せを支える団体でありたい」と語った。

記念式典では、今日まで援協に多大な貢献を行った関係者らへ表彰も行われた。20年以上にわたり役員を務めた尾西貞夫さん、長年理事を務めた井上健治さん、地区委員会を30年以上上務め上げた玉田伯夫さん、その他医師や専門技師らに感謝



記念式典の参加者ら

「表彰受賞者」援協からは以下の通り(敬称略、五十音順)。(個人)井上健治、内村俊一、大瀧多喜夫、尾西貞夫、小畑エミリ、加藤英世、菊地義治、税田清七、坂和三、佐々木尚、佐藤良隆、鈴木厚生、玉田伯夫、増定則、辻雄三、土井セリジオ、戸田マリオ、藤島幸、藤村隆次、南利実、森エリオ、森西茂行、森政雄、矢島カネロ、安武誠、山本恒夫、吉田繁



野村聖市議から表彰状を受け取る秋山氏



野村聖市議から表彰状を受け取る与儀会長



与儀会長から感謝状を受け取る渡辺氏



与儀会長から感謝状を受け取る佐藤氏



与儀会長から感謝状を受け取る藤村氏、土井氏、戸田氏、安武氏、鈴木氏、井上氏



与儀会長から感謝状を受け取る菊地氏、税田氏、坂和氏、尾西氏



# 第63回パウリスタ・スポーツ賞



「移民の原点は陛下のお言葉」と語る下本八郎元聖州議



柳森優さんとお祝いに駆けつけた家族ら



「柳森さんを尊敬します」と握手を求めたオズワルド・シモエスさんに応える柳森さん

「自分は130歳まで生きるから、その間に優



式典後の晩餐会から参加したセーサル・サンパイオ氏

「僕は半分日本人、第二の故郷」

ニッケイ新聞主催の「第63回パウリスタ・スポーツ賞」の贈呈式が今月9日、聖市議会の貴賓室で盛大に開催された。

受賞者らは名前や友人が駆けつけ、時が呼ばれると前に出には大きな歓声が上り、拍手喝采の中、各々が賞状を受け取った。

「ハジメマシテ!」と礼儀正しく日本語で挨拶し、受章者を代表して謝辞を述べた。

「日本はサッカー界で活躍する吉田麻也選手。1対1も良い、ヘディングもできる。自分は吉田が好き」と好印象を得ている。

現在、ジャパン・ハウスムネーションも務め、日本に関わり続ける理由を「日本人と違う顔を自分を受け入れてくれた。日伯の関係強化に貢献したい」と語る。

「苦難乗り越え、今日の活躍」

19種目から25人が受賞

柳森さん、最高齢98歳で受賞

多くの教え子から祝福の握手責め

現役の柔道講師、松堂さん「130歳まで生きて教える」

「自分は130歳まで生きるから、その間に優

秀な選手を出したいね」特別賞を受賞した松堂忠堅さん(84、沖繩県)は、屈託のない笑顔でそう語った。

「自分は130歳まで生きるから、その間に優

秀な選手を出したいね」特別賞を受賞した松堂忠堅さん(84、沖繩県)は、屈託のない笑顔でそう語った。

「自分は130歳まで生きるから、その間に優

せる。インタビューには、Jリーグで6年間鍛えた日本語で応えた。サンパイオ氏がプロを志したのは、意外にも17歳の時。「15歳でユースチームの入団テストを受けたが、実は3つのチームで落ちた。やっとサントスFCに入れたから、最初はプロになる自信がなかった」と打ち明ける。徐々にユース内で存在感を出し、18歳でプロ契約となった。サンパイオ氏が横浜Fマリノスに移籍したのは95年。その心境を「びっくりした。ブラジル人と日本人のサッカーは全然違うからね」と苦笑し、「1年目は言葉の壁も大きくて、一番弱いチームにいたんだ」と決して明るいスタートではなかった。



【特別賞・アマチュアスポーツへの貢献】佐々木ヴァルテルさん



【特別賞・ゴルフ】ロベルト・ヨシオ・アキヤマさん



【特別賞・サッカー】セザル・サンバイオさん(娘が代理で受賞)



【特別賞・柔道】松堂忠顕さん



【特別賞・柔道】柳森優さん



【特別賞・将棋】吉田国夫さん



【特別賞・相撲】籠原功さん



【特別賞・陸上】ケイチ・フジタさん



【ゲートボール】本多八郎さん



【ゴルフ】エミ・ノムラさん



【ソフトボール】マイラ・サユミ・アカミネさん



【テニス】ジロウ・セルジオ・サカキバラさん



【パーク・ゴルフ】ウィルソン・マサオ・ヤマモトさん



【マレット・ゴルフ】西本ミツオさん、ルシアノ・マサオ・斉藤さん



【リズム体操】マリナ・ミチコ・サイトウ・クシヤマさん



【健康体操】アリス・キミエ・ナカムラさん



【剣道】長谷川康一郎さん



【古武道】クリスティーナ・サチコ・ホッジ・ボウムさん



【柔道】オズワルド・クベルチノ・シモエス・フィーリョさん



【相撲】清田武久さん



【卓球】佐藤誠さん



【陸上】マリウセ・ミツエ・カワシマ・スギヤマさん



【野球】クラウジオ・カズヒサ・マツモトさん



【ラジオ体操】木下ジョルジさん

記念プレートを受け取り 笑顔をはる受賞者達

祝 第63回 パウリスタ・スポーツ賞



ブラジル沖縄県人会
Associação Okinawa Kenjin do Brasil
ブラジル沖縄文化センター
Centro Cultural Okinawa do Brasil



Rua Dr. Tomaz de Lima, 72 - Liberdade - CEP 01513-010
TEL: (11) 3106-8823 FAX: (11) 3241-0874

会長：上原定雄ミウトン 会員一同

祝 第63回 パウリスタ・スポーツ賞
Assessoria e Consultoria Contabil e Fiscal



会計士 清原 健児
Contador Kenji Kiyohara

CRC. SP 94.806/0-2

TEL: (11) 3208-3082 / 3207-8446 / 3209-0732

(11) 2579-6380 / FAX: (11) 3277-8604

E-mail: kkiyo@terra.com.br

Rua Barão de Iguape, 212 - 2º Andar Conj. 25/29 - CEP 01507-000 - Liberdade - São Paulo

Advertisement for King Contabilidade, featuring 50 years of experience, efficient solutions, and contact information for Dr. Hatiro Shimamoto and Dr. Marcio Massao Shimamoto.

# 援協創立60周年 盛大に祝う



園田副会長から感謝状を受け取る山本氏、大瀧氏、佐々木氏 (左から4番目)



秋山理事長 (中央右)、渡辺副理事長 (中央左)、援協関係者ら

秋山理事長は、渡辺副理事長と共に、今年4回目の「徐々」に職員が思ふが良くなったと、心なサービスが行なわれており、感謝の意を述べた。

## 「南米日系人の恩人」神内良一氏 財団からの長年の支援に感謝

東京在住の神内良一氏が、11月15日に来伯。援協の各施設を視察した。神内氏は1990年、2013年にわたり、援協に約1億1千万円を寄付し、日伯友好病院の増築や機器購入、聖市リベルターデ区の援協本部ビル建設などの資金に充てられた。



南氏 (中央左)、矢島氏 (中央右)



与儀会長から感謝状を受け取る小畑氏

「現任、日伯友好病院は伯国屈指の優良な病院に成長し、援協は順調に発展してきたが、今後課題もあるかもしれない。その時は激動の111年を生き抜いた日系人の勤勉性、結束力、英知を結集して乗り越えてほしい。そして高齢者の方が安心して暮らせれば、神内氏にとっても喜ばしいことだ」と力強く語った。



内村氏



松本ミルトン氏 (ブラDESCO銀行)



エウクリデス・アラウージョ氏 (ホンダサウスアメリカ)

## ニッケイ新聞編集部にて好評発売中

ニッケイ新聞出版、宮坂国人財団・アリアンサ日伯文化連盟協賛

# o Jeitinho no Japão para os brasileiros

ブラジル人のためのニッポンの裏技

日本語とポルトガル語の勉強にすごく便利  
面白くて分かりやすい  
画像付き日常生活の会話  
カテゴリー別、辞書付き  
日本の生活ガイドにも

特別価格 R\$50

日ポ生活会話ガイド

ご注文・お問い合わせ先  
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで  
郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギまで

●ニッケイ新聞社 11-3340-6060 ●太陽堂 11-3208-6588 ●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399

大反響！問い合わせ多数！  
日本語版入荷 木村 快著

# 『共生の大地アリアンサ』

アリアンサの歴史を知る 決定版

読もう!! 子や孫に伝えよう!!

【日本語版】70レアル → 50レアル 【ポ語版】50レアル → 40レアル  
【両語版購入】80レアル! → 本紙編集部での購入に限ります

特別価格 両語版 R\$80

木村 快  
共生の大地  
アリアンサ  
ブラジルに協同の夢を求めた日本人

Aliança

ご注文 お問い合わせ  
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 (マリアまで) 郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギ ●高野書店まで

●ニッケイ新聞社 11-3340-6060 ●太陽堂 11-3208-6588 ●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399 ●高野書店 11-3209-3313